

令和5年度 音楽科

教科	音楽	科目	音楽 I	単位数	2	年次/コース	高校1年生/SSコース
使用教科書	MOUSA 1						
副教材など							

1. 学習の到達目標

<p>●科目について</p> <p>音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。</p> <p>●コンピテンシーについて</p> <p>音楽を形作っている要素について基礎から学習し、知識技能を身につけた上で、演奏や作曲・編曲に挑戦する。</p>

2. 学習方法について

<p>●授業中において</p> <p>苦手意識を捨てて、新しいことに挑戦していく姿勢が大切です。何度も繰り返される発声練習やギターの練習では、毎回の授業で自分の成長を見つけられるように自分自身をよく観察しましょう。</p> <p>●家庭学習において</p> <p>楽典に関しては小テストを行うので、毎時間の内容を家で復習してくるようにしてください。</p>
--

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	①：知識・技能	②：思考・判断・表現	③：主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	<p>歌唱姿勢や呼吸法、発声法などを身につけているか。</p> <p>器楽ギターの基本的な奏法を身につけて、簡単な曲を演奏できているか。</p> <p>鑑賞楽曲の文化的・歴史的背景や、作曲家及び演奏者による表現の特徴を理解しているか。</p> <p>楽典音楽を形作っている要素を理解しているか。</p>	<p>歌唱曲想を感じ取り、発声やフレーズなどに工夫しながら、独唱・合唱にふさわしい表現をしている。</p> <p>器楽ギターの音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫することができる。</p>	<p>歌唱歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしているか。</p> <p>器楽様々な楽器とその特徴に興味関心をもち、粘り強く取り組む姿勢があるか。</p> <p>鑑賞世界の音楽における声や楽器の音色の特徴をとらえ、多様な表現による音楽美を感じ取って鑑賞する姿勢がある。</p>
評 価 方 法	筆記小テスト 実技テスト	実技テスト ワークシート	授業姿勢

上に示す観点・評価方法に基づいて、各観点で評価し、学期末に当該学期の観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)及び評定(1~5の5段階)にまとめます。また、学年末に年度を通しての観点別学習状況の評価(A、B、Cの3段階)及び評定(1~5の5段階)にまとめます。

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
			①	②	③		
1 学期	歌唱	追手門学院 歌 翼をください Oh sole mio	○	○	○	姿勢や体の使い方、呼吸法、発声法などを正確に身に着けているか。 曲想と歌詞の内容とのかかわりを感じ取って、表現に工夫ができていないか。 意欲的に授業に取り組み、声を出すことができているか。	実技テスト 授業姿勢
	器楽	ギター	○	○	○	ギターの構造、チューニングの仕方を覚えているか。簡単な単音弾きができるか。 ギターの特徴を捉え、弦の押さえ方や弾き方など自分なりに表現の工夫があるか。 積極的に粘り強くギターの練習に向き合う姿勢があるか。	実技テスト 授業姿勢
2 学期	歌唱	1学期に習った曲 「野ばら」	○	○	○	合唱により自分のパートを正確な音程と音量で歌えているか。 周りの声とのバランスや楽曲の特色に	実技テスト 授業姿勢
	器楽	ギター	○	○	○	簡単な単音弾きができるか。 簡単なコード弾きができるか。 ギターの特徴を捉え、弦の押さえ方や弾き方など自分なりに表現の工夫があるか。 積極的に粘り強くギターの練習に向き合う姿勢があるか。	実技テスト 授業姿勢
	創作	楽典	○		○	楽典「音」「音程」「音階」「和音」の基礎を理解し、作曲に活用できているか。	筆記小テスト 作品提出
3 学期	創作	演奏発表	○	○	○	自分たちで作曲もしくは編曲したものを自分たちで演奏する。作曲や編曲が基礎を理解してされているか。表現に工夫されているか。	作品発表